

**事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表**  
**実施時期 令和 8 年 3 月 15 日～ 3 月 31 日**

		チェック項目	はい	どちらとも いいえ	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用者定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	15			利用者数や活動により1階フロア、2階フロア、地域交流センターを使用してスペースの確保をしています。
	②	職員の配置数は適切であるか	15			規定に基づき配置をしています。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	15			出入り口のスロープ、一部手摺の設置をしています。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	15			月一回の職員会議、また利用者に変化が見られた時には適宜振り返りを行い、支援法の見直しを行っています。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	15			保護者からの意見や要望を把握し、活動や行事に取り入れています。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	15			ホームページや事業所の通信にて保護者への公開を行っています。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	15			第三者委員会による評価結果を業務改善へつなげています。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	15			定期的な職場内研修や外部研修への参加する機会を設けています。
適	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	15			児童からの聞き取りおよび保護者・相談支援専門員との情報の共有により計画を作成しています。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	14	1		初回のアセスメントや個別支援計画見直し時のアセスメントだけでなく、生活状況に変化が見られた時にも随時アセスメントを行い支援の見直しを行っています。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	15			月に一回、全職員での会議を行ない、活動プログラムを作成しています。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	15			季節の行事や、児童からの意見を聞き、活動内容を工夫しています。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	15			放課後の利用・休日の利用等、利用のタイプに応じて課題を設定しています。また、長期休暇では戸外活動や学童交流も取り入れています。

切な支援の提供	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	15			集団活動を通して社会性の習得を目指すとともに、趣味活動を楽しめるように個別活動の時間を設けています。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	15			支援開始前には全員で役割の確認を行っています。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	15			支援終了後に、支援内容や、保護者からの気づきなどを共有しています。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15			日々の記録においては、体調の変化などの気づきを記入し情報共有を図っています。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	15			年に2回のモニタリングでは専門職が多角的な視点から意見を出し合い計画および支援の見直しを行っています。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	15			地域交流の場を増やせるように色々なイベントにも参加しています。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	15			サービス担当者会議には担当者の出席を必須として、その他支援に関わる職員からの意見も事前に収集しています。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	15			主に学校への送迎時に情報共有を行い、気づきがあった時には必要に応じて学校に連絡して連携をとっています。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	15			主治医との連絡など、看護職員が調整をして連絡体制を整えています。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	15			受け入れの際には事前に情報提供を頂いています。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	15			今までは対象者が居ない為情報の提供をする事はありませんでしたが、今後そのような対象者が出た時には情報の提供を行っていきます。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	15			児童発達支援事業所等連絡協議会へ参加し助言等を受けています。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	15			法人内の学童と連携を取り交流を行っています。これからも交流の機会を増やしたいと思います。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	15			担当者が参加し意見交換を行っています。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	15			送迎時や、日々の連絡帳などで伝え合っています。また相談支援事業所との連携もとっています。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	15			トレーニングまでは行っていませんが、心理面でのフォローに心がけています。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	15			契約時に説明を行うと共に、適宜説明を行っています。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	15			保護者から相談を受けた時には、アドバイスを行っています。
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15			イベントの後に保護者会を開催しましたが、参加出来なかった保護者様も居られ、保護者同士の連携がとれる開催できませんでした。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	15			苦情マニュアルに基づいて対応を行っています。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	15			定期的な会報の発行や連絡帳等で発信を行っています。
	③5	個人情報に十分注意しているか	15			個人情報を扱う際は、保護者へ確認のもと十分注意を行っています。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	15			個々に合わせて分かりやすく伝えられるように心がけています。
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	15			法人の行事で地域住民の方と交流できるように事業運営しております。
非常時等の対応	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	15			職員の周知はできています。保護者に対しては、保護者会や必要時に説明をして協力をいただいています。
	③9	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	15			月に一回、利用者と一緒に火災・地震に向けた訓練を行っています。
	④0	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15			全職員、定期的に職場内研修を行っています。
	④1	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うのかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	15			車いす乗車時に安全に過ごして頂く為にベルトを使用しており、計画書に記載し保護者に同意を得ています。
	④2	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	15			保護者を通じ、医師からの指示に基づき対応しています。
	④3	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	15			適宜、ヒヤリハット報告書を作成して職員全員に回覧し改善策を共有しています。